


センバツ初出場決定

2022夏・2023春 甲子園連続出場



 能代松陽高校野球部
【公式】Twitter
@noshos540
練習風景や日常生活をつぶやいています



第95回 記念選抜高校野球大会

3月10日組合せ抽選会
同18日大会開幕

能代山本、初のセンバツ出場！ 目指せ、夏のリベンジ！

部長 田村 修
副部長 佐藤 和行
監督 工藤 明
コーチ 長岡 博良

◎大高 有生② (八 峰)
蛇川 颯汰② (大館東)
淡路 建司② (藤 里)
石川 雅輝② (山 王)
小栗 大空② (東 雲)
加藤 隼② (五城目)
倉田 歳② (能代二)
神山 芯平② (能代南)
齋藤 舜介② (藤 里)
藤原 優希② (八 峰)
佐々木 陸仁② (八 竜)
柴田 大翔② (能代一)
竹内 匠② (岩 崎)
畠山 晴也② (琴 丘)
保坂 大悟② (能代南)
藤原 真也② (能代一)
森岡 大智② (合 川)
阿部 昊心① (十和田)
加賀谷 裕樹① (八 竜)
工藤 浩輝① (能代一)
國柄 颯汰① (琴 丘)
近藤 晃広① (鷹 巣)
佐々木 駿介① (大館東)
清水 音色① (八 竜)
清水 佑理① (二ツ井)
高山 圭吾① (能代一)
成田 蒼空① (北 陽)
藤井 瞬① (尾去沢)
藤原 瞬作① (岩 崎)
藤盛 聖海① (北 陽)
山田 翼空① (藤 里)
興齊 漸① (東 雲)
マネージャー
佐藤 愛羽② (東 雲)
高杉 未夢① (大館一)
(丸数字は学年、◎は主将)

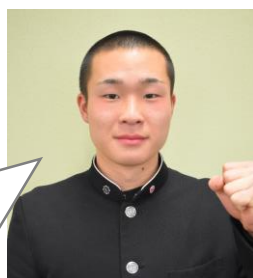
27日大阪市内で行われた選考の結果、東北地区の3校目に能代松陽高校が選出された。井上康雄委員(日本高野連副会長)は選考理由について「準決勝で仙台育英に1-2と接戦を繰り広げた点を評価した。(東北代表として)唯一の公立校。キビキビとした動きに好感が持てる。」と説明した。

95回の記念大会となる今年。地区大会の成績などを参考にする「一般選考」で東北から選ばれるのは3校。東北大会で本校と同じベスト4は聖光学院高校(福島)。今年度の夏の甲子園大会では準決勝で仙台育英高校に敗れたものの、ベスト4の強豪校。選考委員が「東北3校目は、秋田県立」と言った瞬間、中継を見守る会場に歓喜の色がにじんだ。続いた「能代松陽高等学校」という言葉に会場は歓喜に沸いた。

この瞬間の主将・大高有生(2D)は歓喜よりも安堵といった表情。数秒中継画面を見つめた後、ようやく隣に座る主砲・齋藤舜介(2E)とそっとグータッチをした。「目標は日本一」と掲げた大高、夏の悔しさを晴らすべく練習を積み重ねると、発表を見守った人々を前に語った。

主将：大高有生 (ゆうき)

出場が決まる前から、センバツに出るつもりで練習してきたが、決まってホッとした。夏は悔しい結果に終わったので、春は3年生の思いも胸に「日本一」を目指し、部員34人での「全員野球」で頑張る。応援お願いします。



2023年
1月30日(月)
【特別号外】

編集・発行：
能代松陽高校新聞部



キャラデザイン：
三村若菜 (3D)

記者の目

大高さんの「ベンチ入りする選手だけではなく、全員で勝利に向かう」と語る表情が力強く輝いているように感じ、印象的でした。夏の経験を生かしての活躍に期待(真愛)夏に続き、春も皆さんの勇姿を甲子園で見届けたい。チーム一丸となって向かう姿に、いつも励まされて「自分も頑張ろう!」という気持ちで沸いてくる(如夢)